

みずほCustomer Desk Report 2020/03/06号(As of 2020/03/05)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.50
TKY 9:00AM	107.71	1.1140	119.93	1.2871	0.6626
SYD-NY High	107.74	1.1245	120.00	1.2967	0.6637
SYD-NY Low	105.97	1.1120	119.01	1.2862	0.6585
NY 5:00 PM	106.16	1.1236	119.30	1.2957	0.6610
NY DOW	26,121.28	▲ 969.58	日本2年債	-0.250	3.00bp
NASDAQ	8,738.60	▲ 279.49	日本10年債	-0.110	3.00bp
S&P	3,023.94	▲ 106.18	米国2年債	0.5993	▲ 8.94bp
日経平均	21,329.12	229.06	米国5年債	0.6803	▲ 10.46bp
TOPIX	1,515.71	13.21	米国10年債	0.9160	▲ 13.78bp
シゴ日経先物	20,795.00	▲ 600.00	独10年債	-0.6850	▲ 4.50bp
ロンドンFT	6,705.43	▲ 110.16	英10年債	0.3320	▲ 3.55bp
DAX	11,944.72	▲ 182.97	豪10年債	0.7760	5.40bp
ハンセン指数	26,767.87	545.80	USDJPY 1M Vol	9.80	1.79%
上海総合	3,071.68	60.01	USDJPY 3M Vol	8.60	1.27%
NY金	1,668.00	25.00	USDJPY 6M Vol	8.03	1.03%
WTI	45.90	▲ 0.88	USDJPY 1M 25RR	-2.70	Yen Call Over
CRB指数	162.37	▲ 2.30	EURJPY 3M Vol	8.69	1.14%
ドルインデックス	96.59	▲ 0.74	EURJPY 6M Vol	8.12	1.00%

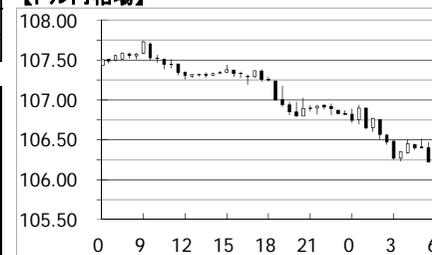
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月5日	09:30	豪 貿易収支	1月 AS\$5,210m	AS\$4,800M
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 216k	215k
3月6日	00:00	米 製造業受注(前月比)	1月 -0.5%	-0.1%
	00:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	1月 -0.2%	-0.2%
	00:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	1月 0.8%	-

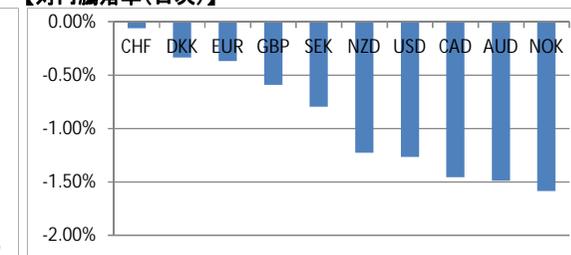
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月6日	09:30	豪 小売売上高(前月比)	1月 0.0%	-0.5%
	16:00	独 製造業受注(前月比)	1月 1.3%	-2.1%
	22:30	米 貿易収支	1月 -\$46.1b	-\$48.9b
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	2月 175k	225k
	22:30	米 失業率	2月 3.6%	3.6%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	2月 0.3%/3.0%	0.2%/3.1%
3月7日	01:20	米 プラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	04:00	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	前日の米株価が大幅高となったことでオセアニア時間にドル円は107.74まで上昇し、東京時間は107.71レベルでオープン。時間外の米国債利回りが朝方から低下し、ダウ平均先物が下落する中ドル円は107.26まで値を落とし、結局107.33レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.33レベルでオープン。新型コロナへの懸念で米株先物と長期金利が下落する中でドル円も下落。106.80まで売られ106.92レベルでNYに渡った。ポンドは、1.2875レベルでオープン。ドル安に加え11日の予算案での歳出拡大期待から一時1.2935まで買われる。屋漏ぎに英国とEUの貿易対話についてのコメントがEUハルエ氏から出ると若干下げ1.2915レベルでNYに渡った。(ロンドン・フリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	昨日米株が大きく買い戻されたものの、海外市場のドル円は、コロナウイルスに対する懸念から上値を重くし、106.80まで下落し、106.92レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が予想とほぼ一致し、ドル円の反応は限定的となるが、世界各国でコロナウイルスによる感染者数が増加する中、米10年債利回りが0.9%を下回る中、ドル円は106.23まで下落する。午後は、米上院でもコロナウイルス対策での緊急歳出法案(78億ドルプラス遠隔医療プログラム推定費用5億ドル)が可決されたがドル円のサポート材料とはならず、1000ドル超下落していたダウが終盤に掛けて下げ止まったものの、ドル円は昨年9/4以来に106円ちょうどを下抜けし、105.97まで下落、106.16レベルでクローズした。一方、海外市場でドル売りに1.1200まで戻したユーロドルは、1.1189レベルでNYオープン。株式市場が軟調に推移する動きを受けたユーロ円の下落到上値を押さえられるものの、再びドル売りが強まったことからユーロドルは1.1218まで戻す。午後は1.12を割り込む局面もあったものの、終盤に掛けてドル売りが強まり、ユーロドルは更に上昇し、昨年末に付けた1.1240を抜け、1.1245まで戻し、1.1236レベルでクローズした。(NY井上)

【マーケット・インプレッション】選挙なしで替わる国と選挙しても替わらない国

世間もマーケットもコロナウイルスの報道で一色となっているが、一部の国では、この一週間で大きく政局が変化している。大きく変化した一つ目の国はマレーシア。既に本邦でも各種報道で取り上げられているが、マハティール首相が退任する。2018年に政権交代し、90歳を超える高齢で就任したマハティール首相の後は、ムヒディン政権が新たに誕生することになった。尤も、2018年の政権交代と大きく趣が異なるのは、選挙を経た政権交代ではないという点だ。今回の政権交代は一種の政変といえるが、背景には、マハティール首相の後任争い、与党PHの政策実行力の弱さ、景気の減速に伴う支持率の低迷といった複数の要素があったように見受けられる。結果として、与党PHが分裂し、一部の勢力が野党に合流する形で政権交代が成し遂げられた。政権交代後の与野党の勢力争いは拮抗しており、今後の政局も予断を許さない状況が見込まれる。マーケットの反応は、今回の政変を受けた政治的混乱が嫌気され、一時は株、債券、通貨のトリプル安に見舞われたが、その後は買い戻しが進んでいる。選挙を経ずに政権が交代した国があれば、選挙を何度行っても一向に新政権が樹立しない国がイスラエルだ。コロナ対策では、真っ先に感染者発生国からの入国を禁止にし、注目を集めたが、今週2日には総選挙が実施され、こちらも同様に注目を集めた。実は今回の総選挙はやり直し選挙の2回目。実にこの一年で3度目の総選挙となった。2019年4月、9月に行われた各々の投票では、現与党の『リクード』と野党連合の『青と白』とも過半数獲得に至らなかったうえ、連立交渉にも失敗し、組閣に至らず。今回の総選挙に向けては、ネタニヤフ首相と親密なトランプ大統領からの各種援護射撃(エルサレムの首都承認、イスラエル寄りのパレスチナ新和平案の提示等)に加え、効果的なコロナウイルス対策の実施から、『リクード』の躍進が期待されたものの、やはり過半数獲得には至らず。今回も連立協議が難航するようであれば、3度目のやり直し選挙が視野に入ってくる。一方で、『リクード』による新政権が樹立されれば、中東のパワーバランスに大きな地殻変動をもたらす可能性があらう。(伊藤)

■今週のドル/円 見直し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
8	12

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。